

FUKUSHI meets!

2018年新卒向け 福祉就職フェア@TOKYO

開催結果まとめ



あなたとワタシのフクシのアシタ

FACE to FUKUSHI

1. FUKUSHI就職フェアとは

◎ 福祉系大学生と福祉法人の新たな出会いの窓口

- 2014年度にFUKUSHIビッグバン!と銘打って、大阪で福祉法人の紹介パネル展 + 合同説明会を開催したことから活動が始まった。
- 2015年度からは東京で開催。合同説明会形式で、全国から出展法人を集めて開催。
- 仕事のリアルを知るために、学生と福祉法人の「対話」を大切にしている。スーツ禁止、カフェのような設えで、会場全体で対話し易い空気づくりをしている。
- 2016年度、春からは大阪で開催。

◎ 2017年3月で5回目を迎える。毎年夏と春に開催

- 2014年度：2014年6月20日～7月26日
- 2015年度：2015年8月2日（日）、2016年3月21日（月）
- 2016年度：2016年7月3日（日）



2. 概要

日程	2017年3月27日(月) 12:00 - 18:00
会場	ヒューリックホール・カンファレンスROOM 0 (浅草橋)
参加対象者	福祉の就職を考えている大学生・専門学校生
出展法人数	36法人
出展法人の特徴	全国各地からF2Fが厳選した、オモシロイ福祉法人
当日のプログラム	12:00 - 12:30 オープニングトーク 12:30 - 13:30 出展法人リレープレゼン 13:30 - 18:00 ブース型会社説明会 ・先輩職員トークショー ・地域出展トークショー ・就活生交流ワークショップ ・FUKUSHI MARKET
フェアの特徴	1. 全国最先端の福祉法人と出会える！ 2. じっくりと福祉の話ができる！ 3. 多彩なプログラムで就職活動を楽しめる！ + α 福祉法人からのお土産をプレゼント！

3. 広報媒体

➤ チラシ・ポスター



➤ WEBサイト



4. 出展法人－概要

出展法人数	36法人
ブース訪問数	35.89名
満足度	89.15点（／100点）

- 出典法人の抱えている課題

- ▶ 法人運営

- ・ 施設・サービスの幅広い展開
- ・ 予算・人員確保
- ・ 法人職員による、新卒採用の必要性への理解不足

- ▶ 人材採用

- ・ 採用フローの設計
- ・ 募集人数に対して、採用が追いついていない
- ・ 中途採用のマッチング率向上

- ▶ 広報

- ・ 広報力の向上
- ・ 地方での働き方のPR・伝え方
- ・ 「高齢者介護」のイメージアップ
- ・ 「NPO法人」の理解度向上

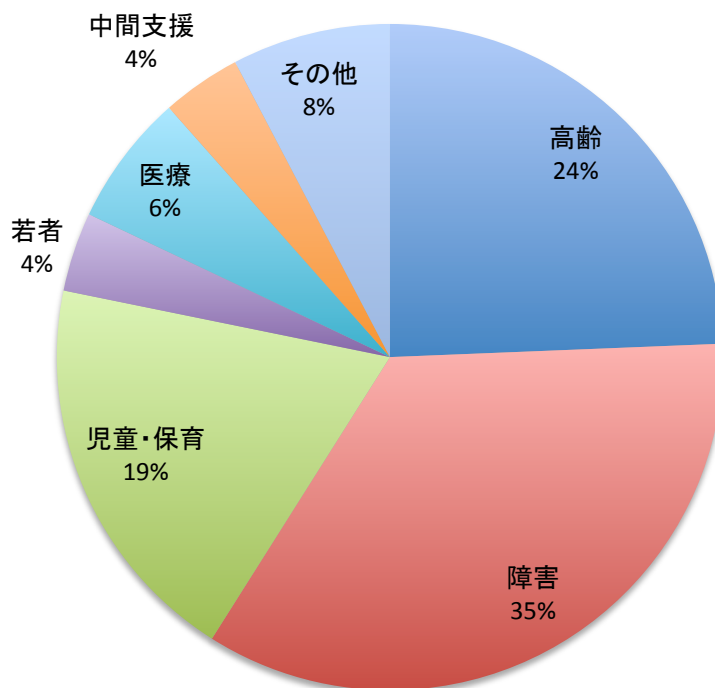
- フェアの感想

- ▶ 運営・出展法人・学生ともいずれのサイドも熱量が高くてよかった。
- ▶ 他の法人とつながりができ、皆と手をつないで福祉を盛り上げようという空気を感じられたのが良かった。これからもこのつながりを持ち続けたいなと思った。
- ▶ 会場の学生コンシェルジュも気持ちよく対応してもらえた。普段の学生とFACE to FUKUSHIの関係の良さを垣間見た感じがした。

4. 出展法人－事業分野

- 障害分野が3割を占めており、次いで高齢分野と児童・保育分野が2割を占めていた。
- 学生アンケートでは、児童・保育分野や医療分野、精神障害分野の出展を希望する声が多かった。
- また、少数ではあったが、貧困分野や地域包括支援センターについて希望する声もあった。

事業分野別(複数実施あり)



5. 参加学生－概要

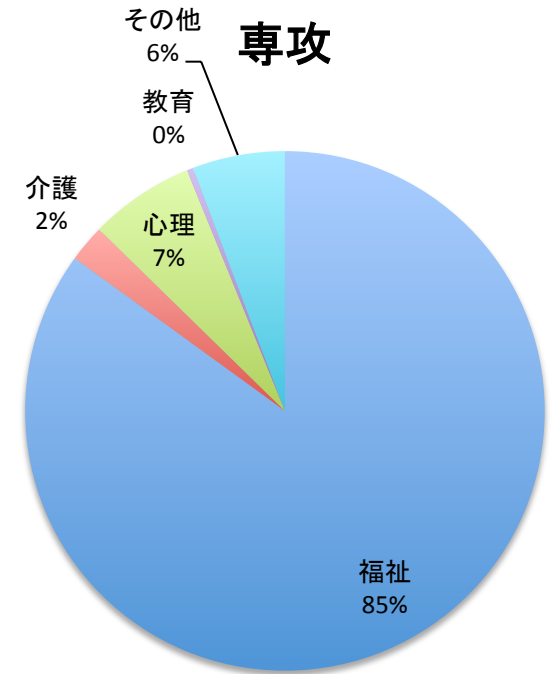
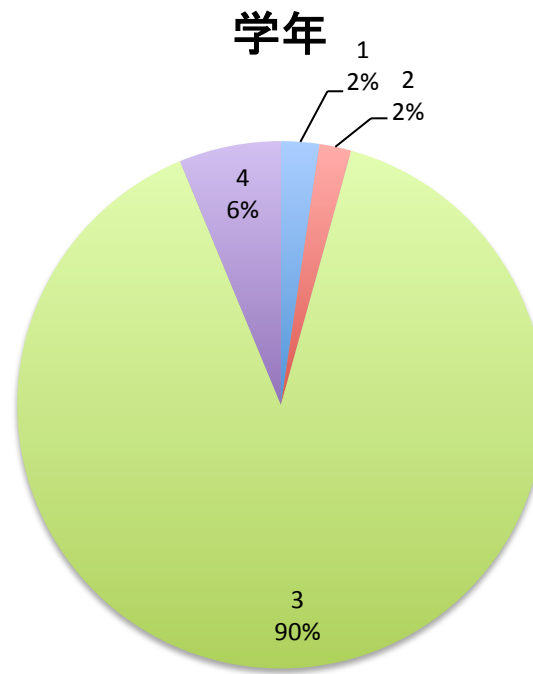
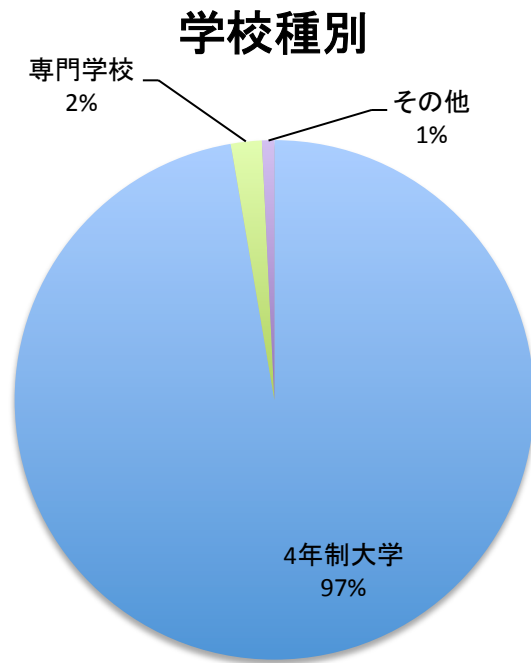
参加人数	301名
ブース訪問数	4.12法人
満足度	86.1点（／100点）

● 参加学生の声（抜粋）

- 熱意のあるお話を、たくさんきくことができ良かったです。福祉業界に就職したいと改めて思うきっかけになりました。
- ブースがもう少し大きいと良いと感じたが、私たちの声を聞いている姿が良かった。
- トークショーもすごく勉強になり、ブースごとの説明会も一人ひとり分かりやすいように説明して下さった。
- なかなか話を聞くことができないので、今回たくさんの法人のお話を聞けて良かったです。
- 職員の方とじっくり話せるスペースや、就職相談コーナー、ぶっちゃけた話を聞くスペースもあったら良いと感じた。
- リレープレゼンで、地域の特色の説明だけではなく、福祉実践についての説明もあれば良かった。

5. 参加学生－学校・学年・専攻（アンケート結果より）

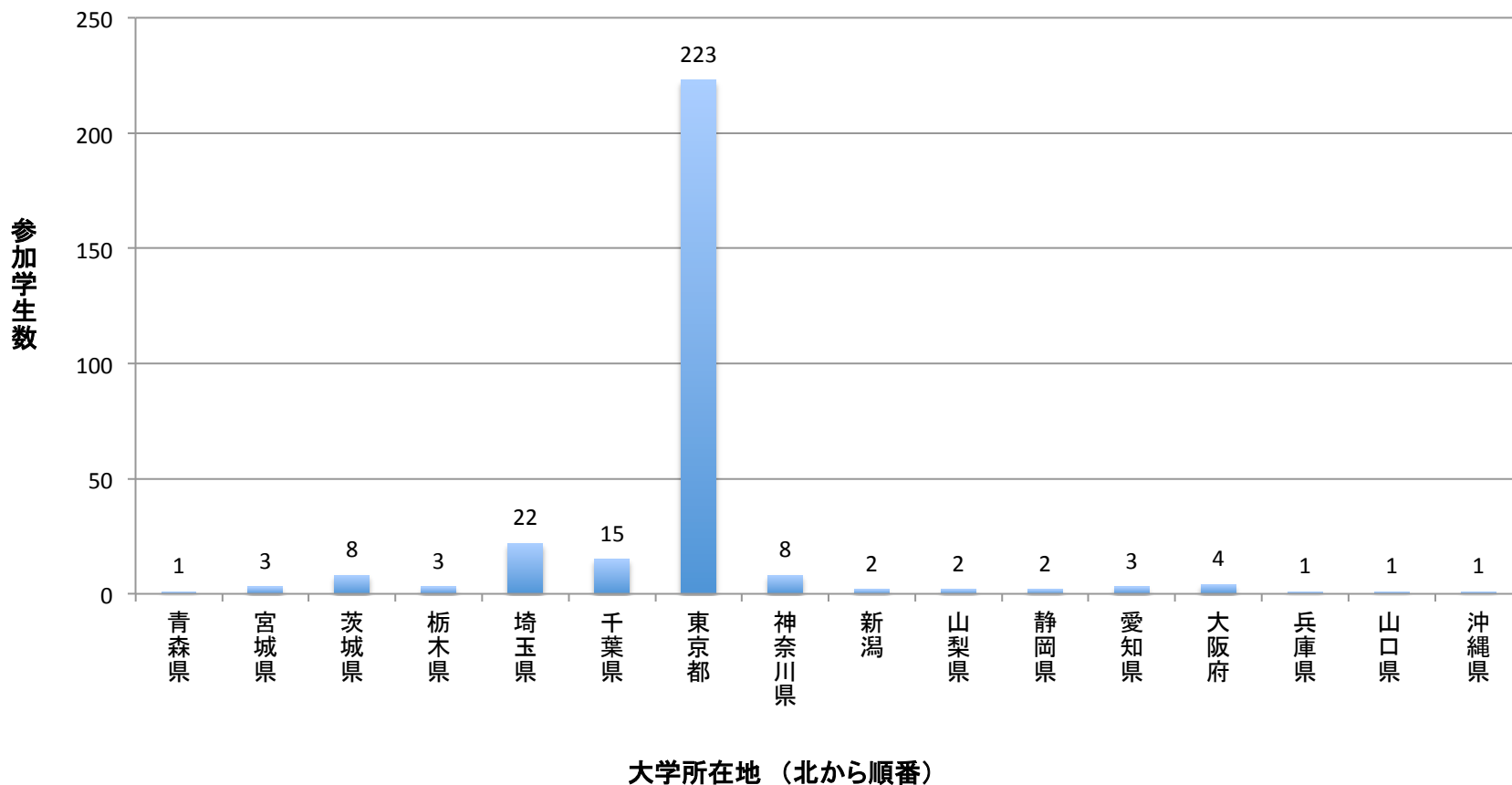
- 参加学生のうち、4年制大学がほぼ10割を占めていた。
- 3年生(新4年生)が9割を占めていた。
- 福祉専攻の学生が8割を占めていた。



5. 参加学生－大学所在地別

- 東京都の大学の学生が大半を占めていた。
- 少数ではあるが、遠方の大学の学生もいた。

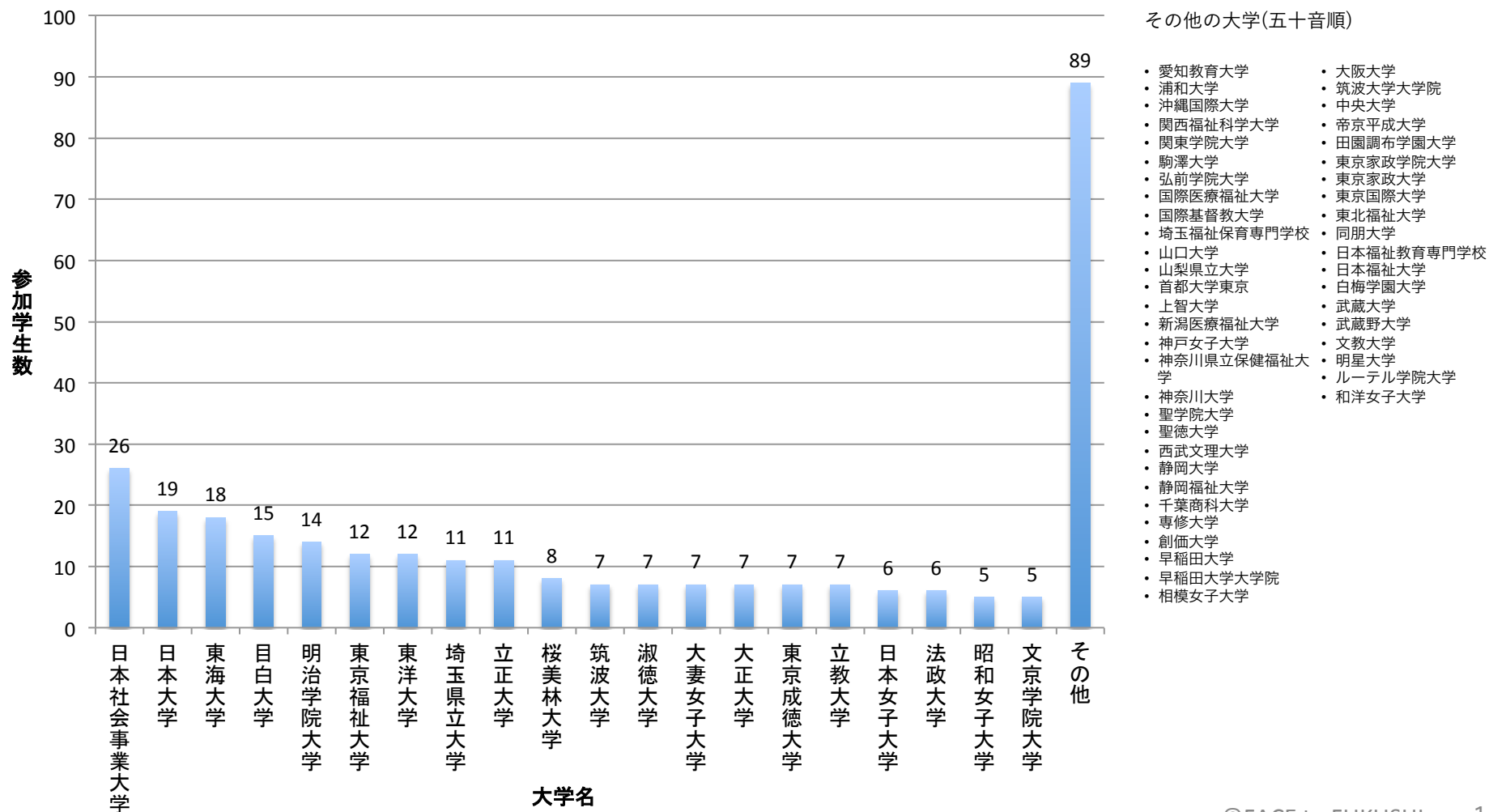
大学所在地別 参加学生数



5. 参加学生 - 大学別

- 日本社会事業大学、日本大学、東海大学が多く、20名ほど参加していた。

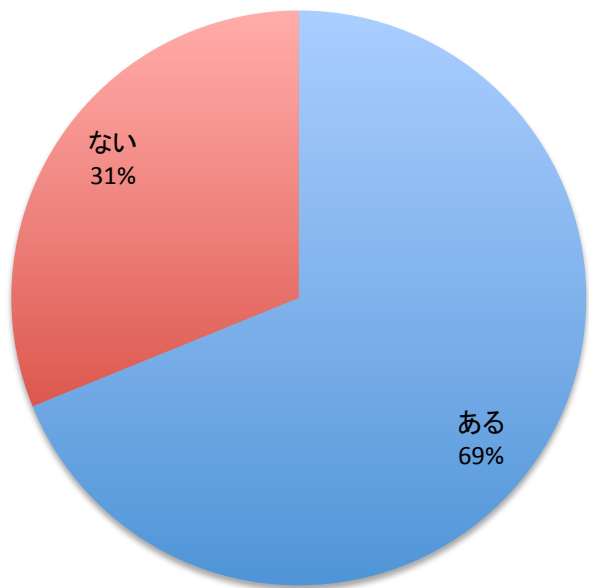
大学別 参加学生数



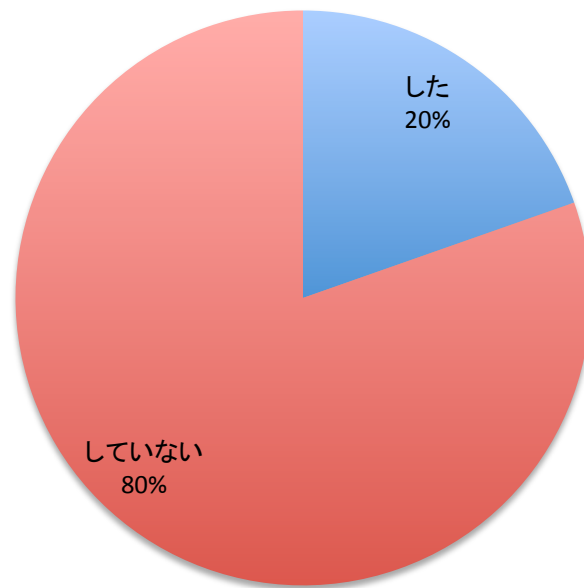
5. 参加学生－他就職フェア参加の有無（アンケート結果より）

- 他の就職説明会に参加したことがある学生は7割であり、大半の学生はすでに就職活動を始めていた。
- そのうち、社協の就職フェアに参加したことがある学生は2割であった。
（ただし、3月の関東の社協のフェアは埼玉のセミナー1回のみ）

他就職説明会への参加



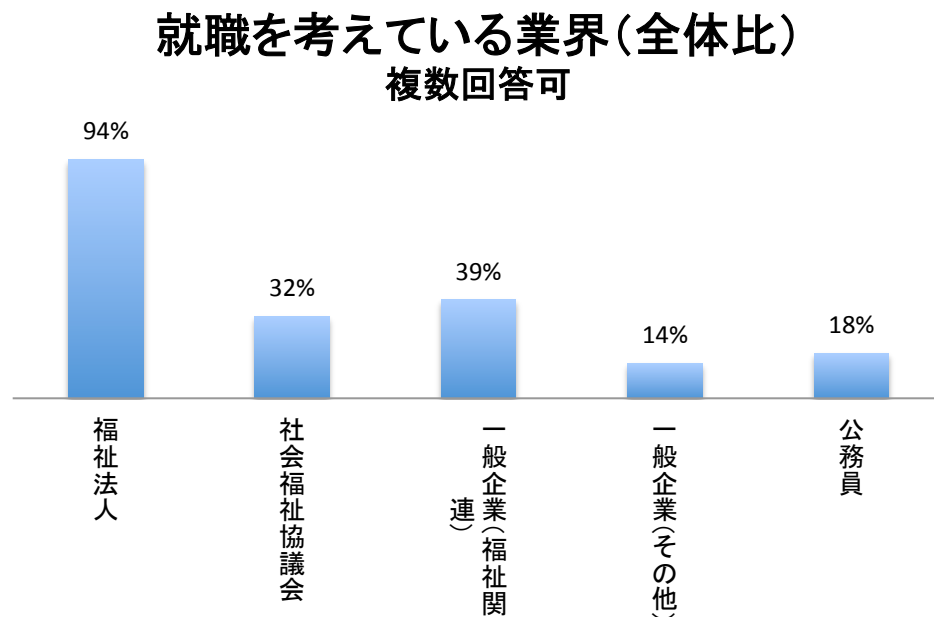
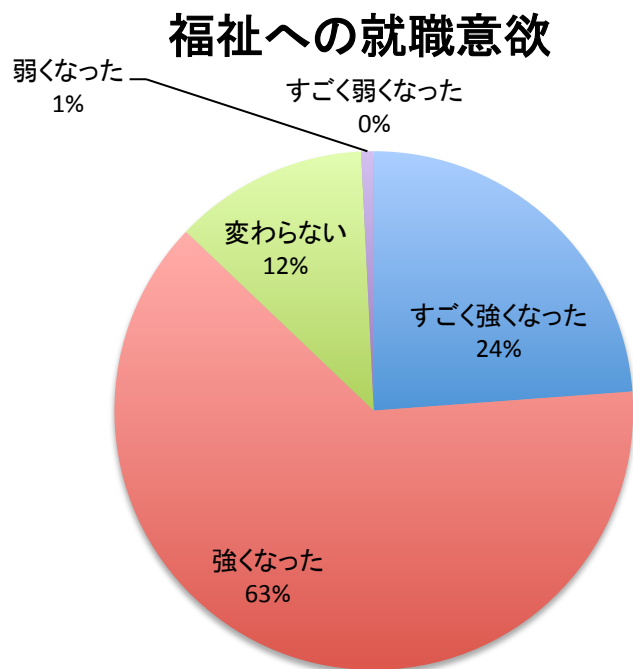
左記の「ある」学生のうち、社協の就職フェアへの参加



5. 参加学生－就職意欲の変化（アンケート結果より）

- 福祉への就職意欲が強くなった学生は9割あり、フェアに参加することで、大半の学生が福祉への興味を強くしていた。就職意欲が弱くなった学生はほとんどいなかった。
- 就職を考えている業界（複数回答あり）は、福祉法人が9割強と大半を締めていた、一般企業（福祉関連）4割弱、社協3割強と多く、悩みながらもすでに福祉法人での就職を考えている学生がほとんどを占めていた。

→フェアに参加すれば、就職意欲を高めることができ、福祉就職へ促すことができることがわかった



6. 当日の様子－オープニング



- FACE to FUKUSHI共同代表によるオープニングトーク
- 出展法人全36社による30秒ずつのリレープレゼンでの、様々な工夫を凝らした会社説明

6. 当日の様子－ブースの様子



- 出展法人33社によるブース会社説明会
- 地域出展3社による、「地域の福祉」の魅力を感じ取るプログラム

6. 当日の様子－トークショーその他



- 先輩職員トークショーで、様々な法人の先輩とお話を聞く
- 就活生交流ワークショップによる、学生スタッフや参加学生同士での意見交換
- ブース訪問でシールを集めて、くじ引きに挑戦！

(参考) プレイベント (就活セミナー) の概要

日程	2017年2月21日(火) 14:00 - 16:30
会場	日本財団 会議室
参加者数	学生 55名
当日のプログラム	14:00-14:10 オープニング 14:10-14:50 オープニングパネルトーク 14:50-16:30 テーマ別トークセッション(2回)
当日写真	

(参考) プレセミナーの概要

日程	2017年3月26日(日) 15:00 - 18:00
会場	日本財団 会議室
参加者数	フェア出展法人 66名
当日のプログラム	15:00-15:25 オリエンテーション 15:25-15:40 FACE to FUKUSHIより今年度フェア等のご報告 15:40-16:30 人材採用・育成の事例共有 16:30-18:00 人材採用・育成に関する情報交換ワークショップ
当日写真	